

令和3年度ウエスコ財団優秀研究者賞

第6回目となる令和3年度ウエスコ財団優秀研究者賞は、以下の2名に決定しました。

① 金 秉洙 （岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 准教授）

【研究題目】 「疎水性キャピラリーバリアを持った河川堤防の安全性に関する研究」
：平成 29～30 年度研究活動費助成事業

金秉洙氏は、地盤工学の研究者で、降雨浸透による河川堤防や斜面の崩壊を防ぐ地盤材料の研究を行っています。その研究の中で、細粒の土（砂層）の下に粗粒の土（礫層）を重ねた遮水機能を持つキャピラリーバリア盛土について、砂層に疎水性地盤材料を用いることでより高い遮水性能を持つ土構造の実現を目指しています。そして、疎水材の製作方法及び疎水材を設置する実効性と安定性を検討した今回の研究成果は、不飽和土構造物の安全性を高める対処法となり、地盤災害を低減する土構造物の実現に寄与することが期待されます。このような学術的な功績が評価されて、今回の受賞となりました。

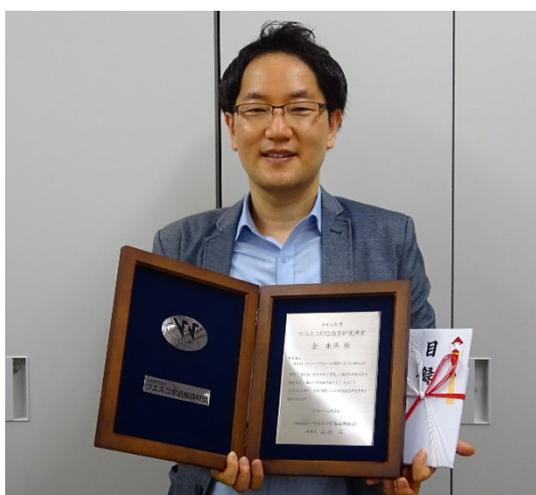
② 川野 光興 （中国学園大学 現代生活学部 准教授）

※2022年4月より中村学園大学 栄養科学部 准教授

【研究題目】 「カルバペナム耐性細菌の駆除を目指したファージ療法の開発」
：平成 30 年度～令和元年度研究活動費助成事業

川野光興氏は、食品微生物学の研究者で、薬剤耐性菌の問題を解決する研究を行っています。その研究の中で、人工ファージ（細菌にのみ感染するウイルス）を作製して、抗菌薬が効かない薬剤耐性菌に対しても、簡便で高効率かつ安全に殺菌できる方法の開発に成功しました。この方法は、F型プラミッド保有菌を限定的に殺菌するため、細菌の種類や薬剤耐性遺伝子の型に制限されず、多くの腸内細菌科細菌に適用可能で、今後は、薬剤耐性菌感染症の新規治療法の確立に発展することが期待されます。このような学術的な功績が評価されて、今回の受賞となりました。

令和3年度ウエスコ財団優秀研究者賞の表彰式と受賞者講演会は、2022年6月2日にANAクラウンプラザホテル岡山で行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、中止としました。金秉洙氏と川野光興氏へは、当財団より表彰状とともに副賞（研究奨励金30万円）をお贈りしました。



金 秉洙 氏



川野 光興 氏